

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 9/3/2018

- 参加プログラム: 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学:
- プログラム期間: 8/26/2018 ~ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 法学部
- 学年(プログラム開始時): 学部 4

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:
夏季休暇期間でかつ就職活動も終えていたので、参加しやすい時期だった。
■参加を決めるまでの経緯:
大学のホームページでプログラムを見つけ参加を決めた。極めて経済的に中国を巡り、学生と交流することができることに特に大きな魅力を感じた。

### プログラムについて

■概要:
北京・杭州・上海の三都市を訪問し、その都市の名所や、北京大学、浙江大学などを訪問した。現地の学生と交流する時間も多く設けられており、意見交換ができる。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:
全日程予定が組まれていたため、その他の活動はできなかった。
■週末の過ごし方:
週末にも予定が組まれていた。

### 派遣先大学の環境について

■設備:
ネット規制により何らかの手段で迂回しない限り LINE、Facebook、Google などのサービスが使えない。
■サポート体制:
ガイドや通訳、看護師が帯同するなど、全面的なサポートが受けられる。

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:
二人一部屋のホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか:
協会指定のホテルだった。

<b>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：</b>
北京、杭州、上海、いずれの都市も蒸し暑かった。食事は毎食中華料理が用意されており、他の選択肢はなかった。
<b>■ お金の管理方法、現地の通貨事情：</b>
現地で 5,000 円分だけ換金した。キャッシュレス化が進んでいるので、現金がなくても問題ないように感じた。
<b>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：</b>
基本的に団体行動なので、治安面等の不安は少ない。食生活がかなり偏ることで体調を崩す人がいた。
<b>■ 自由時間に利用した交通手段：</b>
列車、バス
<b>■ プログラム期間中に利用したネット環境：</b>
SIM

### 参加前の準備・手続きについて

<b>■ プログラムへの参加手続き：</b>
志望動機、自己 PR などに加え、語学関係の証明書類、学部からの渡航許可証などを提出した。
<b>■ ビザの手続き：</b>
なし
<b>■ 医療関係の準備：</b>
短期間だったので、特に準備しなかった。
<b>■ 保険関係の準備：</b>
大学指定の付帯海外留学保険に加入した。
<b>■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：</b>
渡航の許可証を申請した。
<b>■ 語学関係の準備：</b>
簡単な中国語のあいさつなどを覚える程度。

### 費用・奨学金に関すること

<b>■ 参加するために要した費用：</b>	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	3,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
<b>■ その他、補足等：</b>	

<b>■ 留学先で費やした生活費：</b>

家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	5,000 円
■その他、補足等：	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：	
受給しなかった。	

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
中国の現状について様々な視点から知ることができた。ただ、自分で行動する機会は少なく、「体験させられている」感じは否めない。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
中国を含め海外で生活や仕事をする事への抵抗がより小さくなったように思う。
■進路・就職先(就職希望先)：
民間企業、金融機関
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
プログラムを利用することで経済的・効率的に海外へ飛び立つことができるので、積極的に応募してみることを勧めます。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物：
地球の歩き方

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日： 9/3/2018

- 参加プログラム： 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報： <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間： 8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等： 法学部
- 学年(プログラム開始時)： 学部 3

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
春休みは勉強に集中したかったため。
■参加を決めるまでの経緯：
中国に1週間1万円で行けることに魅力を感じたから。

### プログラムについて

■概要：
万里の長城と北京創業公社訪問が印象深かった。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
毎日プログラムが組まれていたから。
■週末の過ごし方：
毎日プログラムが組まれていたので特になし

### 派遣先大学の環境について

■設備：
食堂
■サポート体制：
特になし

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
アメニティが完備されているととてもいいホテルだった。一部 VPN が繋がらないホテルもあったが快適だった。

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
-----------------------

蒸し暑かった。移動はバスと飛行機でやや移動時間は長かった。食事は全て円卓で囲む中華料理だった。
■お金の管理方法、現地の通貨事情:
現地ではお土産やジュース程度しかお金を使うことがなかった。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
治安も悪くなく常に団体行動だったので気にならなかった。
■自由時間に利用した交通手段:
列車
■プログラム期間中に利用したネット環境:
レンタルしたルーター、ホテル Wifi

### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
選考のために書類を数件記入して提出した。その後は東大が指定した保険料の振込み手続きや、日中友好協会への回会費の振込み手続きを行った。
■ビザの手続き:
なし
■医療関係の準備:
目薬や胃腸薬、アレルギーの薬など常備薬を持参した。
■保険関係の準備:
東大の指定した保険への加入が必要だった。それとは別に、日中友好協会指定の保険への加入も必要だったがこれは先方が手続きをしてくれているようで、特に自分でやることはなかった。
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
指定の URL に渡航情報届を提出した。
■語学関係の準備:
前から独学で中国語の勉強を続けていたので特に渡航前に何かしたわけではなかったが、向こうでは英語が通じない中国人も多かったので中国語が話せてとても良かったと思う。

### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	5,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	

<b>■留学先で費やした生活費:</b>	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	100 円
娯楽費	1,500 円
<b>■その他、補足等:</b>	
<b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b>	
受給しなかった。	

### プログラムを振り返って

<b>■プログラムに参加したことの意義、その他所感:</b>
観光名所だけでなく、普段自分では訪れることができないような大学訪問や企業訪問に参加することができた点で大いに満足している。また、日中大学生千人交流大会にて、日本学生代表で司会を務めさせていただいたこともとてもいい経験となった。
<b>■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:</b>
中国にIT系スタートアップ支援企業があると知って中国企業法務への興味がさらに増した。
<b>■進路・就職先(就職希望先):</b>
専門職(法曹・医師・会計士等)、弁護士
<b>■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:</b>
短期派遣プログラムは気軽に行けてしかも金銭的補助が大きいのでとてもオススメです。
<b>■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:</b>
Go Global のサイト

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 9/11/2018

- 参加プログラム: 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学:
- プログラム期間: 8/26/2018 ~ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 文学部
- 学年(プログラム開始時): 学部 4

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:
就活が終わり、時間があったため
■参加を決めるまでの経緯:
夏休みに行ける短期プログラムを大学ホームページで探していて、たまたま日程が合うものを見つけたため、応募した。

## プログラムについて

■概要:
日中の大学生同士で交流を行った。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:
大学への留学ではなかったため。
■週末の過ごし方:
短期間だったため過ごしていません。

## 派遣先大学の環境について

■設備:
大学への留学ではなかったので分かりません。
■サポート体制:
大学への留学ではなかったので分かりません。

## プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか:
留学先から用意されていた。

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:
-----------------------

地下鉄は日本とあまり変わらなかった。
■お金の管理方法、現地の通貨事情:
スマホ決済がかなり進んでいた。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
水道水は飲まないように注意した。
■自由時間に利用した交通手段:
列車
■プログラム期間中に利用したネット環境:
レンタルしたルーター

#### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
簡単な応募フォーム
■ビザの手続き:
なし
■医療関係の準備:
なし
■保険関係の準備:
なし
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
なし
■語学関係の準備:
なし

#### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	3,790 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	5,000 円



■その他、補足等：
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：
受給しなかった。

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
今後の日中関係のあり方について考えさせられるきっかけになったから。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
中国のキャッシュレス化の発展を実感し、日本が遅れをとっている危機感を覚えたため、来年から金融業界で働くうえで何か出来ることがあるのではないかと感じた。
■進路・就職先(就職希望先)：
民間企業、メガバンク
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
興味がなかったり、自分では行けなさそうな国にあえて応募するのも面白いと思います。
■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物：
特になし

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日：9/15/2018

- 参加プログラム：日中友好大学生訪中団
- プログラム情報：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間：8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等：農学部
- 学年(プログラム開始時)：学部4

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
農学部の院試と被らなかつた。
■参加を決めるまでの経緯：
卒業論文のテーマで中国に関連する話題を扱っていたため、中国に興味を持っていた。プログラム自体はたまたま存在を知り応募した。

### プログラムについて

■概要：
文化施設の見学、大学を訪問しての中国の学生との交流が主なプログラムだった。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかつた理由：
短期のプログラムなので。
■週末の過ごし方：
プログラム上なし

### 派遣先大学の環境について

■設備：
見学程度だったので詳しくはわからないが、日本の大学と比べて相当規模が大きそうだった。
■サポート体制：
プログラム上特になし。

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
プログラムで用意された2人部屋だった。綺麗でアメニティも充実しているので不自由はなかつた。
■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
そこまで日本と変わらない気候だと思うが、夏場は暑いので帽子など用意すると思う。

■お金の管理方法、現地の通貨事情:
バスの中でガイドが 5,000 円分元に換金してくれる。それ以外は上海の空港でお土産を買うときに日本円のまま 2,000 円程度使った。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
特に心配することはなかったが、油っこい食事が多いため胃薬などがあると便利かもしれない。
■自由時間に利用した交通手段:
列車
■プログラム期間中に利用したネット環境:
利用していない。

#### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
東大の学内選考書類の他、同意書と訪中団の応募フォーム。
■ビザの手続き:
必要なし。
■医療関係の準備:
なし。
■保険関係の準備:
東大から指定される付帯海外留学保険のみ。
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
担当教授に許可をいただいた。
■語学関係の準備:
英語日常会話程度、中国語は全くの無知識。日本語が通じる場合が多いので必要はないが、中国語を学習しているとよりよいと思う。

#### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	0 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	3,780 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
参加費 10,000 円	

■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	0 円

交通費	0 円
娯楽費	5,000 円
■その他、補足等：	
0	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：	
受給しなかった。	

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
あらゆる分野で重要な中国という国を肌で感じる事ができたこと。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
海外留学をしたくなった。
■進路・就職先(就職希望先)：
研究職、民間企業、起業、商社、ゼネコンなど
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
このプログラムは格安で貴重な経験をさせて貰える上に楽しいのでとてもおすすめです。
■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物：
訪中団ホームページの体験記

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日： 9/4/2018

- 参加プログラム： 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報： <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間： 8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等： 経済学部
- 学年(プログラム開始時)： 学部 4

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
就活が一区切りしたから。
■参加を決めるまでの経緯：
6月終わりごろに参加できるプログラムを探していたところ見つけた。

### プログラムについて

■概要：
ほぼ観光だが、北京大学の学生との交流会はよい経験ができた。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
自由時間がないため。
■週末の過ごし方：
一週間のためなし

### 派遣先大学の環境について

■設備：
ほぼ観光だったのでホテルの wifi を使っていた。LINE が規制されているため、みんな VPN をダウンロードして日本回線を使っていた。
■サポート体制：
充分

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
指定
■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
日本と同じくらい。交通はすべて観光バス。食事も豪華なものがでてる。

■お金の管理方法、現地の通貨事情:
5,000 円あれば足りる。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気がつけたこと等、危機管理:
水道水は飲まない、屋台のものは買わないなど。
■自由時間に利用した交通手段:
利用していない。
■プログラム期間中に利用したネット環境:
利用していない。

#### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
申請書
■ビザの手続き:
なし
■医療関係の準備:
特になし
■保険関係の準備:
付帯海学保険のみ
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
教授のサインが必要なので早めにもらう。
■語学関係の準備:
中国語を若干見直した。

#### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	3,500 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
宿泊料飛行機代食品全て込みで一万円でした。	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	5,000 円
■その他、補足等:	

■プログラム参加のための奨学金の受給有無:

受給しなかった。

プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:

中国の学生と交流することで、改めて現地の考え方に触れたり、また中国という国のポテンシャルを感じることができた。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

中国へのイメージはかなり変わった。経済における日中関係の大切さを改めて実感することができたので、これからの仕事でも何らかの形でいつか中国と関わってみたいと思うようになった。

■進路・就職先(就職希望先):

公的機関、民間企業、農林中央金庫

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

中国に行くならVPNはダウンロードしていったほうがいいと思います。

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

特になし。

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 2018/09/14

- 参加プログラム: 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学:
- プログラム期間: 2018/08/26 ~ 2018/09/02
- 東京大学での所属学部・研究科等: 経済学部
- 学年(プログラム開始時): 学部 4

### ■参加にあたってこの時期を選んだ理由:

就職活動が終わって、時間に余裕があったため。

### ■参加を決めるまでの経緯:

中国については常々関心を持っていたものの渡航の機会が無かったため、一万円で安心して中国に行くことのできる良いチャンスだと思い参加した。

## プログラムについて

### ■概要:

北京大学での交流会をメインに、バスで様々な場所に案内して頂きました。文化遺産や景勝地にも案内して頂き、とても貴重な経験になりました。

### ■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:

取り組んでいない。

### ■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:

特になかった。

### ■週末の過ごし方:

週末もプログラムに含まれていたため特に自由時間は無かったです。

## 派遣先大学の環境について

### ■設備:

短時間の滞在だったので詳しくは分かりませんが、特に問題はありませんでした。

### ■サポート体制:

短時間の滞在だったので分かりませんが、特に問題はありませんでした。

## プログラム期間中の生活について

### ■宿泊先の種類:

ホテル

### ■宿泊先の様子、どのように見つけたか:

派遣団体の用意して下さったホテルに宿泊しました。日本の学生と二人一部屋でした。設備等も日本の通常のホテルと変わりなく、特に困ったことはありませんでした。



<b>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：</b>
日本と同様、蒸し暑い気候でした。食事は比較的日本人の口にも合うと思いますが、少し日本からお菓子を持って行くといいと思います。
<b>■ お金の管理方法、現地の通貨事情：</b>
現地のバスで、ガイドの方に両替をしてもらいました。中国は電子マネーが普及していたので、そちらを使えるとより便利かと思いますが、現金でも特に困ったことはありませんでした。
<b>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：</b>
想像以上に治安は良く、夜出歩いても問題はありませんでした。大気汚染を心配していましたがかなり改善されており特に問題はありませんでした。
<b>■ 自由時間に利用した交通手段：</b>
列車
<b>■ プログラム期間中に利用したネット環境：</b>
ホテルの Wi-Fi

#### 参加前の準備・手続きについて

<b>■ プログラムへの参加手続き：</b>
教務課に提出する書類と、派遣先に提出書類がそれぞれありました。教授の署名をもらう必要があるの で、事前にメール等で概要を説明しておくスムーズだと思います。
<b>■ ビザの手続き：</b>
ビザは取得していません。
<b>■ 医療関係の準備：</b>
特にありません。
<b>■ 保険関係の準備：</b>
大学側から提示された、必須の保険に加入しました。
<b>■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：</b>
特にありません。
<b>■ 語学関係の準備：</b>
交流した学生が日本語の流暢な学生ばかりだったので、特に語学で困ったことはありませんでしたが、事 前に軽くでも良いので中国語を勉強すると、より交流が楽しめると思います。

#### 費用・奨学金に関すること

<b>■ 参加するために要した費用：</b>	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	0 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	3,790 円
<b>■ その他、補足等：</b>	

<b>■留学先で費やした生活費:</b>	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	4,000 円
<b>■その他、補足等:</b>	
<b>■プログラム参加のための奨学金の受給有無:</b>	
受給しなかった。	

### プログラムを振り返って

<b>■プログラムに参加したことの意義、その他所感:</b>
中国に実際に足を運ぶ機会という意味でとてもいい経験になりました。
<b>■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:</b>
就職活動は終わっていますが、働く上で目的意識を持つことの重要性を今回の渡航で改めて感じました。
<b>■進路・就職先(就職希望先):</b>
公的機関、公務員
<b>■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:</b>
きっと良い経験になると思うので、あまり深刻に考えすぎず積極的に参加すると思います。
<b>■準備段階やプログラム参加中に役に立ったウェブサイト、出版物:</b>
Go Global のホームページ

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日：9/4/2018

- 参加プログラム：日中友好大学生訪中団
- プログラム情報：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間：8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等：教育学部
- 学年(プログラム開始時)：学部3

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
夏休み期間で時間があつたため。
■参加を決めるまでの経緯：
これまでに中国本土に行ったことがなかったため。

### プログラムについて

■概要：
北京、杭州、上海の3都市を巡り、中国の歴史や近年の発展について学ぶことができます。北京大学の学生や浙江大学の学生、また日本国内の様々な大学から参加しているので同世代の方々と交流する機会が用意されています。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
文化活動
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
中国のスタートアップ支援を行っている企業訪問
■週末の過ごし方：
週末は含みませんでした。

### 派遣先大学の環境について

■設備：
Wi-Fiは繋がりにくいので香港simを使っていました。
■サポート体制：
困ったことがあればスタッフの方がすぐに対応してくださり、とても安心して1週間過ごせました。

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
主催団体が手配したもの

■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
毎食豪華な中華料理でした。気候は、上海、杭州はとても湿度が高く蒸し暑かったです。
■ お金の管理方法、現地の通貨事情：
換金などすべて主体団体の方に準備していただきました。5000 円分換金しましたが、余りました。
■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：
熱中症になった方がいたので水分補給はこまめにとることをお勧めします。
■ 自由時間に利用した交通手段：
列車
■ プログラム期間中に利用したネット環境：
SIM

### 参加前の準備・手続きについて

■ プログラムへの参加手続き：
開催団体先の作成した応募フォーム
■ ビザの手続き：
特になし
■ 医療関係の準備：
頭痛薬、正露丸を持って行った。
■ 保険関係の準備：
大学から指定されたものに加入しました。
■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：
担当教員、学部事務長の方にサインをいただきました。
■ 語学関係の準備：
中国語が話せると交流の時や観光の時に活躍できると思います。

### 費用・奨学金に関すること

■ 参加するために要した費用：	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	5,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■ その他、補足等：	
■ 留学先で費やした生活費：	
家賃	0 円
食費	1,000 円
交通費	200 円

娯楽費	1,000 円
■その他、補足等：	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：	
受給しなかった。	

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
同じ大学の学生と学年を超えて仲良くなることができ、刺激をもらった。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
海外で働く上で、英語だけではなく専門とする言語があると強みになると思いました。
■進路・就職先(就職希望先)：
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
予定が合うならばぜひ参加してみるといいと思います。とても楽しく有意義な経験ができると思います。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物：
東大のサイト

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日：9/3/2018

- 参加プログラム：日中友好大学生訪中団
- プログラム情報：<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間：8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等：教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時)：学部2

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
長期休みで自由に使える時間が多かったから。
■参加を決めるまでの経緯：
1年半学んできた中国語を活かす機会が欲しかったので GoGlobal のホームページを見て応募を決めた。参加を考え始めた時期が遅く、締め切り間際に申し込みをしたのももう少し余裕を持って考え始めればよかった。

### プログラムについて

■概要：
交流をメインに据えたプログラムだったので、北京大学や浙江大学の学生と会話する機会が設けられた。ベンチャー企業を訪問した日もあった。
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
文化活動
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
日本語を学ぶ中国人学生と会話した。
■週末の過ごし方：
週末と平日のプログラムに差は無かった。

### 派遣先大学の環境について

■設備：
訪問した程度なので分かりかねるが、東大と同程度の設備が整っていたような印象を受けた。北京大学の Wifi は政府統制の対象の海外サイトにもアクセスできると伺った。
■サポート体制：
通訳やガイドさんが同行してくださり、とても快適に過ごすことができた。

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
宿泊先のホテルはアメニティなどが充実しており清潔感もあった。

<b>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：</b>
北京は過ごしやすい気候だった。地下鉄網が発達しており、自由時間での移動に役立った。杭州・上海は非常に蒸し暑かったが室内は冷房が効いており快適だった。毎食豪華な中華料理でもてなしていただき、とても美味しかった。
<b>■ お金の管理方法、現地の通貨事情：</b>
現地着後、希望者対象でガイドさんが 5,000 円分を両替してくださる。wechatpay などがあると便利だったが、中国に銀行口座を持っていないので叶わなかった。
<b>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理：</b>
自由時間中も大通りを外れないようにした。
<b>■ 自由時間に利用した交通手段：</b>
列車
<b>■ プログラム期間中に利用したネット環境：</b>
レンタルしたルーター

#### 参加前の準備・手続きについて

<b>■ プログラムへの参加手続き：</b>
東大国際交流課に申し込み書類を提出した。その他の提出物は特に無かった。
<b>■ ビザの手続き：</b>
ビザは不要だった。
<b>■ 医療関係の準備：</b>
特に特筆すべきことはない。看護師さんが同行してくださったので安心できた。
<b>■ 保険関係の準備：</b>
学研災付帯海外留学保険に加入した。簡単な手続きのみで参加できた。
<b>■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き：</b>
特になし
<b>■ 語学関係の準備：</b>
1年半ほど第二外国語として中国語を学んでいた。

#### 費用・奨学金に関すること

<b>■ 参加するために要した費用：</b>	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	3,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
<b>■ その他、補足等：</b>	
<b>■ 留学先で費やした生活費：</b>	

家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	4,000 円
■その他、補足等：	
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：	
受給しなかった。	

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
100 人という大人数でのプログラムだったので、様々な考えの学生と交流することができ、とても有意義だった。ただありがたいことに日本語のサポートがあまりにも完璧だったので、残念ながら中国語を使う機会は限られていた。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
もともと国際的な仕事に興味があったので、より関心を高めることができた。
■進路・就職先(就職希望先)：
民間企業、商社
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
1年間の留学をする勇気はないが海外に興味がある方に短期派遣プログラムはとても有意義な機会だと思います。ぜひ積極的に活用してください。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物：
日中友好協会のホームページ。過去の訪中の写真などが掲載されている。



## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日: 9/3/2018

- 参加プログラム: 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学:
- プログラム期間: 8/26/2018 ~ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等: 教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時): 学部 2

■参加にあたってこの時期を選んだ理由:
夏休みのこの時期にちょうど予定が空いていた為
■参加を決めるまでの経緯:
中国にもともと興味があって、参加費が安いと知り参加を決めた。

### プログラムについて

■概要:
なし
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの:
文化活動
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由:
中国の有名な場所を参観、現地学生との交流
■週末の過ごし方:
平日と変わらない。

### 派遣先大学の環境について

■設備:
なし
■サポート体制:
なし

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類:
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか:
友好協会が用意してくださった。
■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等:
日本と同じくらい。食事は辛いものが多い、屋台に注意。
■お金の管理方法、現地の通貨事情:

現金があれば大体のところは大丈夫
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
呼吸器官系が弱い人はマスクがあると良いかも
■自由時間に利用した交通手段:
列車
■プログラム期間中に利用したネット環境:
SIM

#### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
国際交流課の指示に従えば問題ないです。志望理由書を提出し、選考を通過してからは海外渡航届けを出しました。
■ビザの手続き:
なし
■医療関係の準備:
マスク、風邪薬
■保険関係の準備:
付帯海学保険に入りました
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
特になし
■語学関係の準備:
事前研修で中国語を少し習った。

#### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	0 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	3,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	

■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	2,000 円
交通費	200 円
娯楽費	0 円

■その他、補足等：

■プログラム参加のための奨学金の受給有無：

受給しなかった。

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：

中国を肌で感じられた、友達が増えた。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：

将来をもっときちんと考えよう！とモチベーションがあがった。

■進路・就職先(就職希望先)：

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：

訪中団は安く中国に行きたい人にオススメです！

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物：

訪中団配布のパンフレット

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日： 9/3/2018

- 参加プログラム： 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報： <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間： 8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等： 教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時)： 学部 1

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
夏休みを充実したものにしたかったから。
■参加を決めるまでの経緯：
2年前にプログラムの存在を知り、内容が文句なく充実していそうであったので、参加を希望していた。

### プログラムについて

■概要：
各種イベントへの参加・中国の名所観光
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
プログラムに則った。
■週末の過ごし方：
プログラムに則った。

### 派遣先大学の環境について

■設備：
とくになし
■サポート体制：
とくになし

### プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
用意されたホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
なし
■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
なし
■お金の管理方法、現地の通貨事情：

なし
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
なし
■自由時間に利用した交通手段:
列車
■プログラム期間中に利用したネット環境:
利用していない。

### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
書類に従って手続きを進めた。誓約書・渡航情報届・パスポートの写真・留意事項確認書・英検や中検などの資格を証明するもの etc.を提出した。
■ビザの手続き:
なし
■医療関係の準備:
なし
■保険関係の準備:
大学や主催団体の指示に従った。
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
なし
■語学関係の準備:
必要ではないが、交流会の充実度に大きく関わってくる。言語が通じずコミュニケーションが盛り上がらないことが何度かあった。日常会話レベルの語学力があると一層楽しめると感じた。

### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	0 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	4,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
プログラム参加費が 10,000 円(内訳なし)	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	3,000 円
交通費	5,000 円
娯楽費	7,000 円

■その他、補足等：
娯楽費にお土産代を含んでいる。
■プログラム参加のための奨学金の受給有無：
受給しなかった。

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感：
とても人柄が良い先輩たちと1週間過ごし、親しい関係が築けたこと。普段の学校生活で接しない分野の方々のお話を伺えたのは大変有意義であった。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響：
第二外国語の中国語を活かすのに良い刺激となった。
■進路・就職先(就職希望先)：
■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス：
充実度も高いだけでなく、純粋に学問的意義を取り除いても楽しい旅行となるはずなので、積極的に応募することを強くお勧めする。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物：
Go Global

# 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

記入日： 9/4/2018

- 参加プログラム： 日中友好大学生訪中団
- プログラム情報： <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-short-visitchina.html>
- 派遣先大学：
- プログラム期間： 8/26/2018 ～ 9/2/2018
- 東京大学での所属学部・研究科等： 教養学部(前期課程)
- 学年(プログラム開始時)： 学部 2

■参加にあたってこの時期を選んだ理由：
授業と被ってないから。
■参加を決めるまでの経緯：
値段が安かった。

## プログラムについて

■概要：
現地大学生との交流
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの：
取り組んでいない。
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由：
ない
■週末の過ごし方：
ない

## 派遣先大学の環境について

■設備：
大学に派遣されたわけではない。
■サポート体制：
大学に派遣されたわけではない。

## プログラム期間中の生活について

■宿泊先の種類：
ホテル
■宿泊先の様子、どのように見つけたか：
日中友好協会の指定
■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等：
上海が蒸し暑かった。
■お金の管理方法、現地の通貨事情：

キャッシュレスが浸透し、現金お断りの店もあった。
■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理:
なし
■自由時間に利用した交通手段:
列車
■プログラム期間中に利用したネット環境:
データ定額プラン

#### 参加前の準備・手続きについて

■プログラムへの参加手続き:
教養学部、日中友好協会がそれぞれ指定した応募フォームを提出。
■ビザの手続き:
なし
■医療関係の準備:
なし
■保険関係の準備:
なす
■東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続き:
なし
■語学関係の準備:
なし

#### 費用・奨学金に関すること

■参加するために要した費用:	
航空費	0 円
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)	10,000 円
教科書代・書籍代	0 円
海外留学保険料(東京大学指定のもの)	7,000 円
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)	0 円
■その他、補足等:	
日中友好協会がほとんど負担してくださいました。	
■留学先で費やした生活費:	
家賃	0 円
食費	0 円
交通費	0 円
娯楽費	5,000 円
■その他、補足等:	



■プログラム参加のための奨学金の受給有無:

受給しなかった。

### プログラムを振り返って

■プログラムに参加したことの意義、その他所感:

中国語学習のモチベーション向上につながった。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響:

ない。

■進路・就職先(就職希望先):

民間企業

■今後参加を考えている学生へのメッセージ、アドバイス:

迷っているなら行ってみた方がいい。

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物:

ない。